

おおまち ちく でんえんけいかん
大町地区の田園景観

所在地：淡路市 大町下、木曾下



「朝日に映えて」淡路市 山本喜一撮影
 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)



「早苗田夕景」淡路市 山本喜一撮影
 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

淡路島は、古くから御食国とよばれ、米、野菜、肉、牛乳、魚介類など豊富な食材に恵まれており、農水産業が盛んな地域です。

そのなかでも、米づくりは、起伏のある地形を活かした棚田や水不足を解消するための県内有数のため池など、淡路島の特性を活かしながら積極的な取り組みが行われてきました。その一方で、農家の高齢化や担い手の減少などにより、耕作放棄地が増えるなどの課題も生じてきています。

大町地区は、淡路島山間部に位置し農業が盛んな地域です。田植えが行われる5月ごろには、田んぼに水がはられ朝日や夕日に色づく素晴らしい田園景観を望むことができます。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから、県道66号線を西へ、車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図